

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 561 号	氏名	宮路 剛史
学位審査委員	主 査 弦本敏行 副 査 平野明喜 副 査 青柳 潔		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、開脚スクワット動作時における前十字靭帯（ACL）不全膝の関節内動態を解析したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 ACL不全膝および健常膝の関節内動態特性を2D/3Dレジストレーション法という新しい手法を用いて解析・比較したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ACL不全膝では、脛骨が大腿骨に対して前方に偏位すること、外顆接触点の移動量が小さいこと、脛骨内旋角度が増大することを明らかにし、今後の膝関節外科学的研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は関節外科学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			